

学校だより



くるだ

令和5年7月21日 第5号
富士宮市立黒田小学校
富士宮市星山 1030-2
電話 0544-26-2670

学校教育目標

自分事として学び、共に活動する子

7月のある朝、見守り隊の方が所用のため、いつもの場所に立たれていないということがありました。子供たちは、口々に「おじさんどうしたのかな、病気かな。」「何かあったのかな。」「おじさんがいないと寂しいな。」「おじさんがいないと何か変な感じだな。」などとつぶやいています。通り過ぎた後、振り返り、おじさんがいつも立っている場所を眺めている子供もいました。

このような子供たちの表れから、子供たちが見守り隊の方のことを大切に思っていることが分かり、うれしくなりました。

子供たちの安全・安心は、見守り隊の方を始めとした地域の皆様、保護者の皆様の支えによって守られています。一学期は本当にお世話になりました。ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

夏、子供の言動を一緒に楽しむ

校長 米津 英郎

7月11日(火)の昼休みに1年1組の廊下で、1年生の女の子が、私の背中をとんとんと叩いて、話し掛けてきました。声が小さくて聞き取れなかったので、私は「どうしたのかな?」と問い返してみました。その子は、にこにこしながらささやくように小さい声で、次のように話しました。

「校長先生あのね。おいしかったから、給食を全部食べちゃったよ。」と。

私は思わず笑ってしまいました。その子も笑っています。でも、どこか照れています。自分は完食できないと思っていたけれど、おいしかったので食べ続けていたら、完食できる自分がいた。そのことがうれしくて、誰かに伝えたくなくて、近くにいた私に話してくれたのだと思います。その日の給食の献立はビビンバ、ナムルでした。

給食を完食するという行為は、人によっては小さな出来事かもしれませんが、この女の子にとっては大きな出来事だったんだなと思いました。

子供を育てるときにやらなければならないことはたくさんあります。まずは「**子供の言動を一緒に楽しむ**」ことから始めることをお勧めします。子供は私たち大人が考えつかないような動きをしたり、おもしろい話をしたりします。このことを一緒に楽しむこと、ある意味では無責任におもしろがるのがよいと思います。校長として不真面目だと言われそうですが、そのぐらいの余裕やユーモアがなければ、これからの社会を生きるために必要な力の一つである創造力を育成することはできない、と私は考えています。

ちなみに、本校の**学校経営目標**は「**楽しくて夢中になる活動を共につくる**」です。子供にとって**楽しい夏休みになる**ことを願っています。ありがとうございました。